

# 敦賀市立博物館



Tsuruga Municipal Museum

敦賀市は古代から天然の良湾として北陸と畿内、東海、そして大陸とを結ぶ海陸交通の要所ともなりました。江戸時代には北前船の交易拠点として発展しました。近代に入ると本州日本海側で最初期の鉄道が開通するとともに、大陸との直通航路が開設され、敦賀は日本とヨーロッパとを結ぶ国際港として繁栄しました。敦賀は古くから港湾都市、要衝の地としての歴史を築いてきたのです。



重要文化財である敦賀市立博物館の建物は、昭和2年に二代目大和田荘七によって建てられた大和田銀行本店を活用したものです。設計は永瀬狂三・吉田克によるもので、銀行でありながら市民に開かれたパブリック・スペースを持つという公共性を兼ね備えていました。北陸初のエレベーターや、レストラン、迎賓室、集会場などを備え、当時の敦賀にとって先進的な建物であったといえるでしょう。

近代の敦賀の発展を経済的に支えた大和田銀行は、今日では敦賀市の歴史と文化を守り、伝え広める「敦賀市立博物館」として地域の中に生き続けています。平成24年から3年を費やした文化財修復工事を経て、建物の重厚な造りや施された洋風の装飾、また、地下空間や3階の講堂まで、市民に親しまれた銀行の、当時の面影を感じることができます。

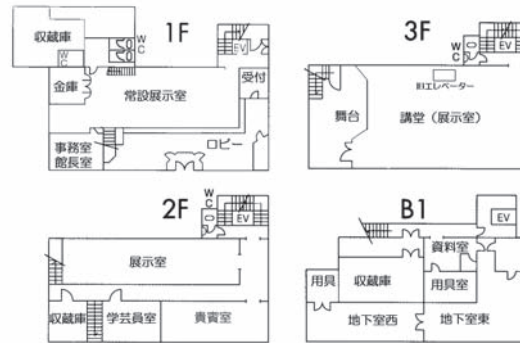


建設当初のエレベーター（重要文化財附指定）

## ご利用案内

- ◎開館時間 午前10時～午後5時
- ◎休館日 毎週月曜日（月曜日が休日にあたる場合はその翌日）  
祝日の翌日  
年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）  
※展示替えや施設点検等で臨時休館する場合があります。
- ◎入館料 300円（250円）／高校生以下 無料  
（ ）内は20名以上の団体料金

## 館内図



## 交通案内

- ◎JR敦賀駅から徒歩25分／タクシー10分
- ◎ぐるっと敦賀周遊バス：〔博物館通り〕下車すぐ
- ◎コミュニティバス：海岸線〔山車会館〕下車すぐ  
松原線、金山線、山・公文名線、常宮線〔神楽町〕下車徒歩5分
- ◎福井鉄道バス：若狭線、菅浜線〔神楽町〕下車徒歩5分
- ◎自家用車利用：北陸自動車敦賀インターから7分



敦賀市立博物館（重要文化財 大和田銀行本店本館）

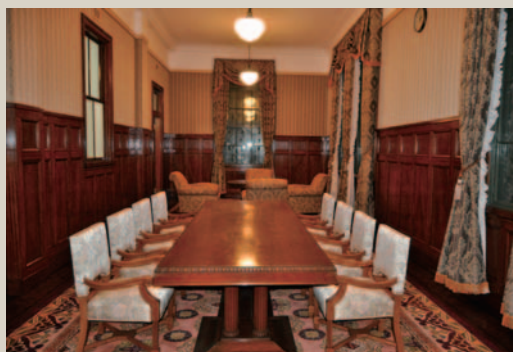
〒914-0062  
福井県敦賀市相生町7番8号  
TEL 0770-25-7033 / FAX 0770-47-6131 / Email museum@ton21.ne.jp  
敦賀市 HP <http://www.city.tsuruga.lg.jp/>

## 敦賀市立博物館建物の沿革

- 昭和 2 年 (1927) 大和田銀行本店として竣工。  
(永瀬狂三・吉田克 設計)
- 昭和 20 年 (1945) 三和銀行と合併、三和銀行敦賀支店となる。
- 昭和 37 年 (1962) 福井銀行敦賀港支店となる。
- 昭和 52 年 (1977) 市に建物が移譲される。
- 昭和 53 年 (1978) 「敦賀市立歴史民俗資料館」として開館。
- 平成 5 年 (1993) 博物館登録を機に名称を「敦賀市立博物館」とする。
- 平成 24 年 (2012) 建物の修復工事が始まる。
- 平成 27 年 (2015) 1 月 30 日、修復工事が完了。  
7 月 4 日、リニューアル・オープン。
- 平成 29 年 (2017) 2 月 23 日、重要文化財に指定される。



大和田銀行時代の 1 階カウンター



復原された 2 階貴賓室

## 1 階展示室

1 階展示室では、大和田銀行と大和田荘七、そして近代の敦賀港の歴史を関連資料を通して紹介しています。



《竣工当時の大和田銀行本店》



《大和田荘七》



《立石岬灯台レンズ》

## 2 階展示室

2 階展示室では歴史資料・考古資料をテーマごとに取り上げ、古代～近世の敦賀の歴史を順次紹介していきます。また、特別展・企画展も行っています。



菊池容斎筆《関ヶ原合戦図屏風》(右隻部分)



歌川広重筆  
《六十余州名所図絵  
越前敦賀気比松原図》



《敦賀風景ハツ乃詠》

## 3 階展示室

当館では敦賀ゆかりの絵師をはじめ、おもに京都画壇の日本画作品を所蔵しています。常設展では郷土関連画家はもちろんのこと、狩野派や土佐派、円山四条派、原派、岸派、復古大和絵派など多様な流派の日本画作品をご覧ください。その他にも寄贈資料を中心に書や工芸、現代洋画作品などがあります。



《若松・笹岡蒔絵硯箱料紙箱》



円山応挙筆《狗子図》



内海吉堂筆《楓下游鯉図屏風》(左隻)



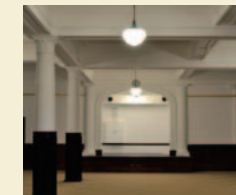
初代橋本長兵衛筆《架鷹図》

## 館内施設

フリー・スペースとして公開している地下では、大和田銀行時代にレストランとして使われていた当時の雰囲気を感じることができます。3階講堂のステージ側は、文化活動や催しも活用できます。



地下スペース



3 階講堂ステージ